

## 夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 議事要旨

会議名	第3期夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第7回）
日時	令和2年11月18日(水)18時30分～20時15分
出席	藤本知香、井村良英、小畑くるみ、唐亀康司、佐藤奈々、進藤祐貴子、安部芳絵、佐藤米子、小松佳世子、山中ゆう子、飯野結香、井土満、栗原一雄、松本零、横内幸子、丹野日和、石川拓海、伊藤梓、角田健太郎、吉田祐太 [事務局] 横塚子ども家庭部長、五箇野子育て推進課長、石井、野島
欠席	米原立将、赤瀬瞳、畔田世紀子、宮田章子、川手芳尚、石井直行、坂下香澄
配布資料	研修資料
会議場所	立川市役所 302 会議室

### 1. 委員向け研修 【コロナ禍と子どもの権利】 講師：安部委員

スライドを使用した講義と子ども委員を各班に配置した4班でグループワークを行った。

- ・講師より、前回会議「コロナ禍における生活の変化」で出された主な意見を振り返った。

- ・コロナ禍の自分の気持ちを漢字一文字で表す、各班から出された意見。

- 「石」「自」「寂」「乱」
- 「無」「忍」「考」「複」「差」「惑」「限」
- 「労」「忙」「揺」「爆」
- 「変」「惑」「孤」「疲」

- ・新型コロナウイルス感染症とは何かの説明を行った。

感染症の流行は今だけのことではなく、200年前位から人類は感染症と闘ってきていること、日本では当たり前に行っている水を使用して手を洗うことや、インターネットにアクセスができずオンライン授業が受けられない子どもが世界人口（世帯）から半分位いる等。

- ・セーブ・ザ・チルドレンが、全国一斉休校時に行ったアンケート結果を講師より説明。

学校に行きたい、勉強が心配、ひとりで留守番は怖い、暇、友だちに会いたい、お昼ごはんどうするか、バイトできないからお金がない、卒業式ができず寂しい、生活リズムの乱れ、運動不足、コロナのことを子どもにも教えてほしい等。

- ・アンケート結果から印象に残ったこと、各班から出された意見。

- 家事の大変さが分かり、協力するようになった
- ギガがなくなりそうには共感できた
- 子どもへ向けたニュース等情報発信がなかった
- 急に休校になり、本当に先生も生徒も大変だろうと思った
- 在校生が卒業式や送る会に参加できなかったが、何か方法はなかったのか

- ・子ども向け情報提供について世界的にどうだったか、講師より説明。  
フィンランド、ノルウェーの政府関係者の情報発信等
  
- ・夢育て・たちかわ子ども21プラン推進会議で何ができるか、各班から出された意見。
  - 子ども向けのアンケートを実施
  - オンラインで相談できる場を作れないか
  - こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場で子どもから大人に意見を言える場を作れないか
  - 子どもが大人に意見を言えて、子ども同士も共有できるものがあると良い
  - 子どもがよく使うアプリやLINE等を活用して相談できる場を作れないか
  - 乳幼児向け絵本を作って、コロナとはどんなものかお話しができれば良い
  - 立川市で行われているイベントを中止にしないで、子どもたちの居場所を多く作ってほしい
  - 相談相手がどれだけ自分の話を聞いてくれているかを分かるような対応が大切
  - 自分たちがやりたいことを、夢を書いてもらう場を作る、書くことが大事
  - 夢や楽しそうなことを言える環境と聴く場を作る

## 2. その他

### (1) 各委員からの報告

- ・冒険遊び場
- ・たまがわ・みらいパーク
- ・中学生の主張大会
- ・チャイルドライン
- ・養育支援と子育て支援員

### (2) 次回会議

- ・来年2月3日、市役所1階の101会議室で午後6時半から